

新・三春病院経営プランの点検結果一覧

I 町立三春病院の果たすべき役割

1 基本となる医療機能

No	取組項目	内容	点検・評価
1	基本的医療機能	サブ急性期を中心とした機能の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間の救急車受入件数131件（前年度比+46件） ・ 年間の救急車入院件数73件（前年度比+16件） ・ COVID-19患者の入院受け入れ、在宅療養陽性者や発熱者対応を行った。 ・ サブ急性期機能の継続
		地域医療機関との病診連携による役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ 退院支援加算1の施設基準を満たし算定 ・ R3.3月より退院支援室長交代
		往診、訪問医療の機能保持	<ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問リハビリ、往診・訪問診療を継続している。 ・ 星訪問看護ステーション サテライト三春による訪問看護、訪問リハビリテーションを継続中
		夜間、休日、救急診療に対応する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 救急指定日は2日で来院66名、入院0名、PCR検査22件実施。 ・ 救急指定日以外では来院610名（前年度比+10名）、入院378名（前年度比-8名）受入れ、救急車搬入者は131名（前年度比+46名）
		各種検査等の機能維持	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健診1,832名（前年度比-62名） ・ CT検査受託382件（前年度比+35件）
		リハビリ職による機能回復訓練とサービス向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉住環境コーディネーター、いたみマネージャーの資格取得 ・ がん患者リハビリテーション施設基準取得 ・ 年間のリハビリ実施人数（回復期病棟264名、一般病棟397名）
2	診療科目及び診療日等	診療科目の維持（12科目）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内科、小児科、外科、整形外科、耳鼻咽喉科、眼科、産婦人科、泌尿器科、皮膚科、心療内科、精神科、リハビリテーション科
		土曜診療の継続	<ul style="list-style-type: none"> ・ R2年1月より土曜午前のみ診療 ・ 午前診療科は、内科・外科 ・ 午後は、常勤医日直で紹介患者受入れ体制整備
3	外来診療体制の維持向上	内科診療の維持継続	<ul style="list-style-type: none"> ・ R3.3より常勤医師1名退職し2名体制となったが、星総合病院や町内の医師等非常勤医師の協力を得て毎日診療できた。 ・ 患者ニーズが高い上部内視鏡の経鼻ファイバーを導入
		小児科診療の維持継続	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナワクチン接種体制構築し、接種開始。星総合病院小児科医師にも支援いただく。 ・ 非常勤医師が毎週水曜日午前診療。
		外科診療の維持継続	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外科医師が病院長であり診療日以外も対応可能 ・ がん化学療法継続中（実施件数延べ88件） ・ 星総合病院医師が毎週木曜半日診療 ・ 乳がんセット健診の設定を行い、乳がん検診受診につながっている。
		整形外科診療の維持継続	<ul style="list-style-type: none"> ・ 火、金曜に1日、木曜日半日診療を行う体制を整備し診療継続 ・ 骨密度測定装置の更新で検査時間短縮と患者負担軽減
		産婦人科医診療の維持継続 産婦人科常設に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 星総合病院医師が隔週火曜日に診療 ・ 今後も医師確保に向け活動継続
		眼科診療の維持継続	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内の医師が水曜半日診療。診療の際、当院及び星総合病院の視能訓練士が検査等を行っている。 ・ 視力表の更新を行い、精度向上を図った。
		耳鼻咽喉科診療の維持継続	<ul style="list-style-type: none"> ・ 星総合病院医師が毎週月曜半日と水曜1日診療を行っている。診療の際三春病院の言語聴覚士が検査等を行う。 ・ 非常勤医師によるVE（嚙下内視鏡検査）を病棟患者へ実施している。
		皮膚科診療の維持継続	<ul style="list-style-type: none"> ・ 火曜日の1日診療の継続。木曜半日の継続診療
		泌尿器科の診療の維持継続	<ul style="list-style-type: none"> ・ 星総合病院医師が毎週水曜半日診療を実施。R4年度より医師変更の為、月曜日へ変更することとなり体制整備した。 ・ 検査機器の導入により、星総合病院へ依頼していた検査が三春病院で出来るようになった。
		心療内科精神科診療の維持継続	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎週火曜半日、水曜半日の診療を継続 ・ 必要時、星総合病院の臨床心理士が来院し、心理検査実施
その他の診療科	<ul style="list-style-type: none"> ・ リハビリテーション科診療 ・ 助産師外来を開設し継続中 ・ 診療検査・医療機関として、発熱患者の診療体制を構築。 ・ 濃厚接触者等の行政検査を行う帰国者・接触者外来の実施（延べ477件） ・ 三春町高齢者の入所前PCR実施体制を整備し実施した（27件） ・ かかりつけ医からの紹介を受け発熱患者を診察する地域外来を開設し、町内医療機関に協力いただき延べ34名対応した。 		

4	入院診療体制の維持向上	一般病床の基準看護充足	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10対1の施設基準クリア ・ 1日平均看護師配置数13名配置（必要数7名） ・ 月平均夜勤時間基準72時間以内をクリア
		安全管理と感染管理の徹底	<p>【安全管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療問題防止マニュアルに準じて安全管理実施。マニュアルの定期的に直しを図っている。 ・ セーフティマネジメント部会員がチーム活動にて安全管理を強化、徹底している。（院内ラウンドの実施、転倒転落ワーキンググループ活動等） ・ COVID-19入院患者の安全確保のため、モニターカメラを設置し観察環境を整備。 ・ レベル0の件数145件（転倒の恐れ、薬剤関連）、ヒヤリハットが13件あった。3bは4件（転倒による骨折）。 <p>【感染管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ COVID-19入院対応のため、南病棟に壁を設置しゾーニングを行った上で受け入れを行った（延べ83名の入院受入） ・ 感染患者搬送用車いすを購入し、移動時の感染拡大を予防。 ・ 病院感染対策マニュアルに準じて感染対策を実施 ・ ICTメンバーが定期的に院内ラウンドを実施し、感染管理の徹底に努めている。
		各病棟の勤務体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般病棟は2交代制、遅番体制とし夜間の安全管理を強化 ・ COVID-19感染者対応は、全スタッフが対応できるよう教育体制を整えている。 ・ 回復期病棟は3交代制、早番、遅番体制により切れ目ないリハビリを行う体制を整備している。
		栄養サポートチームの設置 食事相談、病態別栄養指導と教室の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎週水曜日に医師を含めたチームで回診を行っている。 ・ 栄養指導件数288件（入院127件、外来140件、訪問21件） ・ コロナ禍前に実施していた病棟での栄養レクチャーは、感染拡大防止の観点により中止している。
5	医療における安全管理の確保	医療安全管理体制整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全推進委員会・安全管理室・セーフティマネジメント部会が連携し安全管理体制を強化している。 ・ 専任安全管理者を配置し、治療に関する患者さんからの苦情・相談に対応している。 ・ COVID-19感染者対応マニュアルについて改訂。 ・ コロナワクチンのディープフリーザー管理、温度点検の安全管理について薬剤部を中心に確認を行った。 ・ 医療安全対策加算1について 星総合病院と連携し「医療安全相互評価」を継続して実施している。
		安全管理マニュアルの適正執行	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全マニュアルを改訂し運用を行っている ・ セーフティマネジメント部会と安全管理室協働ラウンドによりマニュアル順守状況の確認と指導を実施している。 ・ インシデント、アクシデント多発時は医療安全通信～みはる～を定期的に発行し職員にフィードバックと注意喚起を行っている。
		基準に基づく医療事故の公表	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療事故調査制度による報告事例は0件 ・ インシデント報告件数596件（0/190件、1/134件 2/229件、3a/38件）アクシデント（3b/4件）、その他1件。
		ヒヤリハットなどの事例検討分析	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療問題防止マニュアルに準じて事例検討実施 ・ ヒヤリハット事例をセーフティマネジメント部会で協議を行った（インスリン変更指示内容、実施間違い等）
		クリティカルパスの運用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 白内障手術0件・大腸ポリペクトミー6件運用している。
		院内感染防止対策の適正実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院感染対策委員会を毎月開催 ・ 感染対策合同カンファレンスを定期的に行い感染に関する情報交換を行っている。（R4.1 星総合病院にて実施） ・ 毎週水曜日にICTラウンドにて問題点を把握し改善策を検討している。 ・ 感染対策の取り組み（COVID-19感染者対応マニュアル作成・掲示物の改訂）を実施した。 ・ 全ての来院者へ検温、手指消毒を行っていただくよう機器を設置した。業者等の導線を分けて対応している。
6	医療倫理に基づく医療の提供	患者中心の医療の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「患者の権利とお願い」「職員倫理」を院内に掲示。病院ホームページ、入院案内等で広報している。
		説明と同意、記録を徹底した医療の実践	<ul style="list-style-type: none"> ・ 説明と同意に関しマニュアルに準じて実施 ・ 入院診療計画書は入院時に患者・家族に説明し同意を得ている。その他看護計画変更時、内視鏡検査、IVH挿入時、抑制必要時、リハビリ開始時、輸血開始時、病状変化時リスクの高い治療等でわかりやすい言葉で説明し同意を得ている。その際看護師が同席し患者・ご家族のサポートを行っている。説明内容、家族の反応はすべて記録している。
		カルテの開示方法についての公表	<ul style="list-style-type: none"> ・ 患者や家族の開示請求を受け、個人情報に配慮しながら対応（対応件数6件）
		院内倫理委員会の設置運営	<ul style="list-style-type: none"> ・ R3年度は、検討すべき医学研究対象がなく倫理委員会は開催しなかった。
7	看護体制の整備	看護基準・手順の策定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 看護手順基準マニュアルの改訂。 ・ 入院患者におけるリスク管理を整備し、せん妄ハイリスク患者ケア加算を取得した。 ・ 看護業務委員会が中心となり看護研修等に参加し改善された内容等を変更。さらに改善内容は、基準・手順作成後、設問方式で知識の確認を行い周知している。

II 公的医療機関としての役割

1 地域医療の質の向上に向けた役割

No	取組項目	内容	点検・評価
1	地域医療機関との連携・支援 地域医療向上のための取組み	地域医療連携室・入退院連携室の設置	<ul style="list-style-type: none"> 退院支援加算1の基準を満たし、算定継続中 R3. 3月入退院支援室長交代
		開放型病院としての施設基準の取得	<ul style="list-style-type: none"> 38名の登録医師と協力し診療を行う体制を整備している。 R2年度新たに4名の医師がオープンシステム登録をした。 年間延べ訪問診療件数233件、連携病院の訪問診療件数791件 福祉施設の訪問診療2,492件
		高度医療機器は、医療機関との共同利用を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 受託CT検査382件。紹介患者数1,164名、紹介入院数403名 心臓超音波検査の受託を開始し、2施設が登録している。 星総合病院との遠隔読影システムの実施を継続。開業医患者の術後や検査入院を受け入れている。
		診療所医師との症例検討会・情報交換会の定期的開催	<ul style="list-style-type: none"> 開業医による当直の支援をいただいている。 田村地区休日当番（年2回）及び田村夜間診療所への診療協力を実施 在宅療養支援病院2（連携型）算定継続
		「研修施設」機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> 一般住民向けのどこでも健康教室を26回開催。院内研修会28回実施。 三春病院主催の田村地域対象オンラインセミナーとして「コロナワクチンについて」と「患者への接遇の基本」「人生会議（ACP）とは」をテーマに3回開催。施設内外より計231名+α（オンライン）が参加
		臨床研修医を受け入れ、協力型臨床研修指定病院とする	<ul style="list-style-type: none"> 星総合病院初期研修医6名の地域医療研修を受け入れた。
		研修医、実習生等を受け入れ、教育の場を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> 研修医、各種専門学校等21件の実習見学を受け入れた。
		患者・町民への地域医療に対する啓発	<ul style="list-style-type: none"> オレンジカフェ健康教室のチラシを、開催時期に合わせ回覧板にて案内した。 三春町広報誌に三春病院の取組等を掲載
		病院機能評価の認定	<ul style="list-style-type: none"> 30.1月病院機能評価更新のため受審「地域貢献」と「栄養管理」で高い評価を得て更新となった。 R2年3月に病院機能評価「期中の評価」を提出した。 R3.12月に更新のためのキックオフを開催した。
地域ニーズに応じた訪問看護・訪問リハビリサービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> 星訪問看護ステーション サテライト三春による訪問看護、訪問リハビリテーションを継続中。 三春町内クリニックと契約し、管理栄養士の訪問栄養指導を実施している。 		
2	医療データベースの構築と情報提供	電子カルテの運用と活用	<ul style="list-style-type: none"> R2.10月電子カルテ更新を行った。星総合病院、星ヶ丘病院、たむら市民病院とID統合し診療の効率化を進めた。 厚生省へ診療データを提出している。 R3.10月オンライン資格確認システムの導入。
		情報開示の推進	<ul style="list-style-type: none"> DPCデータ提出、全国がん登録を行い、公的機関に診療情報を開示している。
		診療情報管理士の配置	<ul style="list-style-type: none"> 診療録管理士1名を配置し、適正な診療録管理に努めている。
		福島県医療福祉情報ネットワークの参加、活用	<ul style="list-style-type: none"> COVID-19入院患者のキビタン健康ネット登録を行い、県中・県南支援コーディネーターとの情報共有に活用した。 ふくしま病院連携ネットワークに加入。県内医療機関、薬局等との情報共有、連携を図っている。（自院対応件数82件、連携施設対応1,443件）
3	町民参加の推進	病院意見箱の設置、満足度調査の実施	<ul style="list-style-type: none"> 12月外来満足度調査の結果、85%が満足と回答 12月入院患者満足度調査の結果、回復期病棟で85%、一般病棟で85%が満足と回答 病院意見箱 14件（お礼3件、苦情4件、要望7件）
		モニター制度の実施	<ul style="list-style-type: none"> 毎年7月、11月、3月にモニター会議を開催。今年度は要望があり関連施設見学を2か所行ったため、計4回の会議を開催。 町内の民生委員や病院利用者等4名に委嘱
		地域住民ボランティアの受入	<ul style="list-style-type: none"> オレンジカフェにおいて延べ28名のボランティアを受け入れた。
		病院ホームページ・広報誌の発行	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス接種の当院個別接種時に、町民ボランティア及び赤十字奉仕団のボランティアに対応いただいた。 感染対策のため、これまでのボランティア受け入れが困難であったが、認知症カフェで地域住民の協力を得た。 病院ホームページを定期的に見直し修正を行っている。 正面玄関前に診療情報やイベント情報などを掲示するスペースを設置した。待合では医療情報資料を常時配置し閲覧できるようにした。 法人発行の広報誌（年4回）の発行を行った。 毎月「栄養科だより」、隔月「ヘルスサポートレター」を作成し、院内掲示やホームページ上の掲載を行っている。 三春病院Facebookを開設し情報発信を行っている。 三春町広報誌に毎月「病院だより」を掲載
		Eメールやアンケートによる広聴	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ上に病院のアドレスを開示し、意見収集ができる体制をとっている。

2 災害時の医療の役割

No	取組項目	内容	点検・評価
2	住民の生命身体を守る機関としての機能提供	災害時における地域拠点病院としての機能	<ul style="list-style-type: none"> 消防署と連携し救急患者のスムーズな受け入れができるよう体制を整備 E-MIS（広域災害救急医療情報システム）の更新を行った。R3年度E-MIS活用した防災訓練に参加。 R元年度より三春町防災会議出席
		広域的連携を図り、非常時に備えた体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> COVID-19入院患者の急変時に備え、キビタン健康ネットを活用した県中県南コーディネーター医師との情報共有を行い、緊急時のスムーズな対応を図れた。 ふくしま病院連携ネットワークに加入し、有事の際に県内医療機関との情報共有、連携体制を図る。（当院対応件数82件）

Ⅲ 地域包括ケアシステムの推進

1 医療・保健・福祉連携の拠点としての機能

No	取組項目	内容	点検・評価
1	保健予防活動の充実 町民の健康管理等保健事業の推進	町と連携した健康情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> 健診受診者1,832名 9～10ヶ月健診 年間11回94名 特定保健指導（積極的・動機付け支援）実施144名中、対象者6名、実施3名。
		健康教育健康相談事業への協力、受託	<ul style="list-style-type: none"> 3～4ヶ月健診時、保健師による個別指導を実施 9～10ヶ月健診は、医師、保健師、助産師、看護師、歯科衛生士、管理栄養士が対応し助言、指導を行っている。
		町主催行事での健康相談	<ul style="list-style-type: none"> さくら湖マラソン、三春盆踊り、三春秋祭りが、COVID-19による感染拡大防止のため中止となった。 田村地区駅伝のための中学生健診を行った。
		妊産婦・乳幼児健診の実施協力	<ul style="list-style-type: none"> 3～4か月児健診へのスタッフ派遣 9～10ヶ月を三春病院で実施 医師を含んだ多職種での協力 星総合病院助産師が「ママカフェみはる」に協力。R3年度より、妊婦対象「プレママパパカフェ」を3回の開催協力。 福島県赤ちゃんホットステーションへ登録を行った。 助産師外来、産後デイケア事業の実施（産後デイケア2名）
		各種がん検診事業への協力・受託	<ul style="list-style-type: none"> 乳がん、子宮がん、胃がん、肺がん、大腸がん受託（健診者243名） 9～10ヶ月児健診年間11回94名受診した。
		特定健診・特定保健指導事業等への協力	<ul style="list-style-type: none"> 特定健診を受託（健診者144名） 特定保健指導（積極的・動機付け支援）対象者6名、3名に実施。
		地域企業の健診、健康教育への協力	<ul style="list-style-type: none"> 企業健診（年間15社）の受託 インフルエンザ予防接種は、ワクチンの納入が減少したため、必要性の高い方へ接種を実施した。
2	病院機能を活用した地域包括ケアシステムの推進	相談室設置による退院後の安心な生活支援	<ul style="list-style-type: none"> 相談業務を行うとともに、リハビリテーションスタッフ等が事前に退院先を訪問し、指導・訓練に活かしている。 ターミナルにある退院患者へ、病棟看護師が訪問看護を実施した。（1例） 社会福祉士を3名体制とし、退院支援体制を強化した。
		地域支援事業、介護予防事業の協力実施	<ul style="list-style-type: none"> 三春町敬老園、あぶくま荘、こぶし荘の嘱託医、及び協力医療機関として11ヶ所受託している。 R4.1月三春町内のサロンにおける健康講座の依頼があり、リハビリスタッフや管理栄養士等が伺い講師を務めた。
		地域ケア会議への参加	<ul style="list-style-type: none"> 行政より依頼あり、社会福祉士や言語聴覚士が計5回参加した。（三春町、田村市、葛尾村）
		通いの場づくり事業への支援	<ul style="list-style-type: none"> 駅前サロンへのスタッフ派遣はCOVID-19の影響により中止 いきいき百歳体操指導の継続、サロンにおける健康講座。
		地域事業所へのリハビリ的助言支援	<ul style="list-style-type: none"> 敬老園、あぶくま荘へリハビリスタッフが訪問し助言を行っている。 公立小野町地方総合病院へのリハビリ支援、嚥下訓練指導を実施した。 にこにこ元氣塾への支援の継続
		認知症総合支援事業推進の強化	<ul style="list-style-type: none"> 認知症カフェは感染対策を講じ4月～12月まで保健センターで実施、1月からは参加者の要望もあり三春町役場で開催した。感染拡大時は中止し、会場レイアウトや飲み物やお菓子の提供方法も変更した。 認知症初期集中支援チーム活動継続（相談依頼3件） 三春町認知症高齢者等見守りネットワークへ登録を行った。 認知症サポーター養成講座3回実施52名受講 認知症サポーターステップアップ講座1回実施 12名受講
			<ul style="list-style-type: none"> 在宅訪問診療実施（訪問人数233名） 嘱託医担当施設診療実施（対応人数2,492名）

		その他の地域包括ケアシステム構築のための取組み	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケア病床の運用について検討し、R3.11三春病院事業運営協議会にて承認を受けた。R4.3月には県中地域医療構想調整会議にて承認をいただいた。 R3年度ACPプロジェクトを院内に立ち上げ、地域向け講座の実施、院内でのもしバナゲーム体験等実施した。 地域事業者や法人キッチンカー等による「さくらマルシェ」を8回開催した。11月は「ミニフェスタ」として体力測定や栄養科紹介、調剤薬局の講話等合わせて実施した。
3	医療機能・人材を活用した子育て支援の推進	産前産後の子育てサポートの実施	<ul style="list-style-type: none"> 星総合病院助産師による助産師外来 三春町第1保育所看護師や小児科医師による育児相談
		町子育て支援事業の協力	<ul style="list-style-type: none"> 星総合病院助産師による産後デイケア事業への協力 星総合病院助産師が「ママカフェみはる」での育児相談等、新規に「プレママパカフェ」での母親学級講師の協力
		病児・病後児保育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 三春町第1・第2保育所へ看護師各1名配置 三春町内開業医と意見交換を行い三春病院での病児・病後児保育の実施を検討継続
		助産師外来・思春期相談の実施	<ul style="list-style-type: none"> 助産師外来・産後デイケア受入整備 育児相談・思春期相談体制整備
		子供達が医療に関心を持つ取組みの実施	<ul style="list-style-type: none"> 三春中学校、岩江中学校、田村高校へ、医療職について理解いただくため「三春病院職業ずかん」を作成し贈呈した。 三春町第1保育所園児より、花の種を寄贈いただき来院者へプレゼントした。三春町保育所より季節の作品を寄贈いただき「こども写真館」として掲示した。 中学生の職場体験や高校生の看護体験は、COVID-19の影響により中止となった。
4	地域の関連施設と連携した事業展開	地域事業所等との連携推進のための会議・研修会	<ul style="list-style-type: none"> 三春病院主催の田村地域対象オンラインセミナーとして「コロナワクチンについて」と「患者への接遇の基本」「人生会議（ACP）とは」をテーマに3回開催。施設内外より計231名+α（オンライン）が参加。
		地域関係者との連携推進会議	<ul style="list-style-type: none"> 11月定例町内医療機関連絡会議の際、三春病院の現状報告等を行っている。 地域外来や新型コロナワクチン接種体制の構築等、新たな事業を進めるため、町内医療機関と協議を重ねた。 嘱託医となっている特養やグループホーム担当医師、施設職員や在宅関係者にて、在宅診療連携会議を月1回実施している。
		その他連携推進の取組み	<ul style="list-style-type: none"> 三春包括等と認知症初期集中支援チーム推進、認知症事業の推進を目的として月1回会議を開催し連携強化

2 患者及び来院者へのサービス提供

No	取組項目	内容	点検・評価
1	施設サービス	売店スペースの有効利用	<ul style="list-style-type: none"> R3.4より新たな売店事業者が運営を開始した。商品の種類の拡充、期間限定イベント等、企画しながら対応している。 R4.1月より、処方箋を希望の薬局へFAXできるサービスを導入していただいた。
		病棟内有料サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> 病室の床頭台、テレビ、洗濯乾燥機は業者と契約し不具合があれば早急に修繕、取り替えを行っている。
2	外来・入院患者向けサービス	外来診療・会計待ち時間の短縮方法の検討実施	<ul style="list-style-type: none"> オンライン資格確認システムを行えるよう、ネットワーク工事を行い運用開始した。 会計待ち時間短縮のため、医事課職員の体制を改善し対応。
		交流スペースの活用	<ul style="list-style-type: none"> 4月から12月まで月1回認知症カフェを保健センターで、R4.1月より三春町役場にて開催 保育所より植物の種をいただき、風除室へ飾り来院者へ配布した。 町民の作品や絵手紙を1階ホールに展示した。
		行政資料の掲示等	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険等各種申請資料、行政主催の健康・家族教室の資料等について掲示及びパンフレットを設置した。
		その他患者サービスに関すること	<ul style="list-style-type: none"> 待ち時間が長くなる場合、看護師から説明している。 外来、病棟に自由に利用できる冷水器を設置 相談窓口の設置と案内 個人単位のテレビ、冷蔵庫、金庫の設置 感染対策のため面会禁止が続いており、希望によりオンライン面会が可能な体制を整備し対応した。 ほしくまファームより、キッチンカーによる弁当販売、地元業者による菓子販売等を入り口前で開催した。

3 病院スタッフ管理（医師・看護師等・事務等）の体制

No	取組項目	内容	点検・評価
1	スタッフの管理体制	医療の質の向上を基本とした管理体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院管理監督職対象研修、3年目、5年目研修、他施設の他部門研修、ステップアップ研修、人事異動による人事交流等実施、看護師キャリアアップ支援にクリニカルラダーを作成運用 ・ 会議による情報交換（法人合同会議）事業本部会議、事務長会、看護管理者会議、在宅事業部会議、こども事業部会議、メンタルヘルス会議、病床管理者会議、薬事審議会、公立3病院連携会議（院内会議）管理者会議、運営会議、総合連絡会、病院管理者会議・診療部会、教育委員会、安全推進委員会、感染対策委員会、褥瘡対策委員会、サービス向上委員会、ICT委員会、セーフティマネジメント部会、質向上委員会、診療録委員会、医材料管理委員会、在宅診療連携会議、栄養管理委員会、ACPプロジェクト会議、ファーストサポートプロジェクト会議、診療録委員会、カルテ開示委員会、地域包括ケア病床運用委員会、輸血療法委員会、認知症支援会議、衛生委員会、防災委員会、広報委員会
		サービス向上委員会運営による質の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ サービス向上委員会活動①患者満足度調査、待ち時間調査により課題の明確化と対応②意見箱にお礼3件、苦情4件、改善要望7件に関して共有検討した。③待合へ医療情報パンフレットを整備した。④新たな売店事業者とのサービスの検討、共有を行った。サービス向上委員会活動は、患者・家族の声を病院運営に反映し質向上に繋がっている。
		職員の院内・院外研修の計画的な開催と積極的参加による質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全管理、感染対策関係の院内研修等28回開催 ・ 認知症関係の院外研修等院外研修14名参加し、担当者が講師を務めた。オンラインによる認知症疾患医療センター全国大会の聴講。 ・ 実習指導者会議等の院外活動延べ37名参加
		専門領域の能力開発による組織全体の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人事考課・目標管理を行い、個人目標達成の支援を継続。 ・ R3年度管理監督職昇格者1名。計画的に院外研修（オンライン研修）に参加し実践活動している。 ・ 活用度の高い認知症対応能力向上研修に毎年参加し、認知症カフェ、認知症初期集中支援チーム活動を支援 ・ 看護師特定行為研修受講者（ろう孔管理）が特別養護老人施設にて、胃ろう交換実施
2	職員の確保	特定の出身母体に限定しない人材確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三春病院長が福島県や福島医大へ医師派遣依頼を行い日当直の支援が得られた。 ・ 医師人材派遣の依頼を継続中 ・ R元年度より、町内クリニック勤務医師が月1回当直担当
		医師確保に向けた環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修医の学習環境整備のため、常勤医師と研修医スペースの配置を変更した。 ・ インターネットのできる環境整備を行った。 ・ 医局内の床が破損しており、修繕を行った。
3	意思決定・指示・報告の責任体制	病棟・外来・各部門ごとの体制の明確化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 組織体制の基準に準じて責任体制・役割を明確化している。各部門、各部署に責任者を配置し連携している。 ・ 各部署・部門からの意見、課題に関しては、管理者会議（関係者参加）にて決定し部門責任者、部署責任者、スタッフへと報告される。
4	病院管理	マニュアルに基づく適正な管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の基本理念、運営方針就業規則は院内各部署に掲示しホームページにも掲載している。 ・ 毎年、事業計画を策定し進捗を報告している。 ・ 就業規則は各部署に保管、職員ホームページへ掲載

IV. 地域の発展に貢献できる病院運営の実践

1 地域に根差した病院運営

No	取組項目	内容	点検・評価
1	地域との交流促進	病院フェスタの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年開催している「みはるフェスタ」は、COVID-19の影響により中止とし、「さくらマルシェ」を活用した「ミニフェスタ」としてイベントを実施した。 ・ R3年度冬季は院内にてみにマルシェとして、2つの事業所が交代でお菓子やお惣菜等の販売を行った。
		地域の行事等への職員参加	<ul style="list-style-type: none"> ・ さくら湖マラソン、三春盆踊り、三春秋祭りは、COVID-19の影響により中止となった。
2	地元出身の医療従事者の積極採用	地元採用を積極的に行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 常勤職員数117名。内、三春町内居住者は26名、22.2% ・ 三春町広報誌に医療職の求人掲載 ・ 障がい者雇用4名のうち、三春町在住者1名。
3	職員の地域への定住促進	地域活性化に貢献できるよう、定住を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三春町在住職員数26名
4	地域産業との連携	病院食材への地産地消の推進、医療関連産業の振興を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院食材の約50%は地元食材を使用している。
5	地域の人材育成への貢献	職場見学・職場体験の積極的受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 延べ27人の見学、実習を受け入れた。毎年実施している町内等の中学・高校生の職場体験はCOVID-19の影響で受け入れ中止となった。